



2016年3月3日

プレスリリース
報道関係者各位

一般社団法人 情報処理学会



情報科学の未来を俯瞰する怒涛の2時間トークを無料生中継！ ～日本の情報学を代表とする国際的な先鋭研究者19人が集結～

一般社団法人 情報処理学会(本部:東京都千代田区、会長:富田 達夫)は、2016年3月10日(木)～12日(土)に慶應義塾大学で開催される「情報処理学会第78回全国大会」の最終日に、国際的に活躍する新進気鋭研究者によるトークイベント「IPSJ-ONE」(実行委員長:落合陽一・筑波大助教)を開催し、株式会社ドワンゴと提携しニコニコ生放送にて配信いたします。時流に乗る日本の若手トップ研究者19人によるライトニングトーク形式の登壇を俯瞰することで、今後の情報社会に向けての研究動向を広く一般の人々に発信するために企画されました。

人工知能やIoTなどの流行語が世間を賑わせていますが、現在の日本では情報学の最先端研究に触れる機会は多くありません。今話題の深層学習も、IoTも、3Dプリンタやウェアラブル技術そしてVR技術も、学術分野では何年も前から研究が行われ、その将来像が議論されてきました。今、最先端研究を知ることには、ビジネスや学生の進路決定、メディア戦略などに繋がります。「IPSJ-ONE」では、そうした最先端研究を一流の研究者による平易な解説で聞くことができます。

昨年、京都大学で開催された第一回IPSJ-ONEはニコニコ生放送にて配信され、19名の気鋭研究者によるトークを含めチャンネルの視聴者数6万人以上に及びました。一般の視聴者を意識した平易なプレゼンは多くの人の反響を呼び、イベントに関するTweetは2,300、Togetterまとめは11,000のビューを記録しています。なお、昨年の様子はニコニコ生放送のアーカイブでご覧いただけます。
(<http://live.nicovideo.jp/watch/lv210755959#03:30:02>)

情報処理学会では、現在39分野の研究会にて各分野の専門家たちが日々議論を深めています。今回も昨年に引き続き、各研究会による推薦、IPSJ-ONE企画・実施委員会による審査により、分野を超えたインパクトを有する19名の気鋭の研究者を招待いたしました。それぞれ約5分の持ち時間でトークを行います。

「IPSJ-ONE」は情報学の専門家だけでなく、一般の方々も最先端の研究を楽しく知る絶好の機会となっています。発表の様子は、会場あるいはニコニコ生放送にて無料でご覧頂けますので、是非ご覧ください。

情報処理学会第78回全国大会 IPSJ-ONE

日時	2016年3月12日(土) 15:30～17:30
場所	慶應義塾大学 日吉キャンパス 協生館 藤原洋記念ホール (横浜市港北区日吉4-1-1)
WEB	http://ipsj-one.org
放送URL	http://live.nicovideo.jp/watch/lv253878857

本イベントに関するお問い合わせ・取材申込窓口
一般社団法人 情報処理学会 事業部門 東京都千代田区神田駿河台1-5化学会館4F
TEL: 03-3518-8373 FAX: 03-3518-8375 Email: jigyos@ipsj.or.jp

登壇者紹介



ユビキタスコンピューティング
システム 研究会推薦

玉城 絵美

H2L, Inc. 創業者
JSTさきがけ 研究員
早稲田大学人間科学学術院 助教



身体の共有

本講演では、手の動作を共有する装置UnlimitedHandの応用開発と研究の一つを紹介します。SNSや動画配信サイトでは、多数の体験の情報が共有されています。しかし、動画と言語による共有が主になっているため、実際に体験した投稿者本人のみが楽しく、同じ体験ができない閲覧者によっては羨ましさから精神的な負担になる場合もあります。つまり、投稿者にその意図がなくとも、SNSや動画配信サイトは、幸せやリア充であることのアピールの場になってしまうことがあります。そこで、HMDとUnlimitedHandを用いることによって、視覚、聴覚と手の身体感覚の情報、つまり身体の出るかぎりの情報を共有し、閲覧者が出来るだけ投稿者に近い身体の体験をする応用開発と研究が進められています。この応用開発と研究により閲覧者も幸せやリア充になった風になり、精神的な負担を軽減するかもしれません。※もしかしたら余計に精神的な負担になるかもしれません。



グラフィクスと
CAD研究会推薦

楽 詠瀬

Columbia University
Postdoctoral Research Scientist



コンピュータと物理をより近くに

実世界の物体の挙動は物理則によって支配されています。こうした挙動は複雑で、しばしば人間にとって理解・制御することが容易ではありません。コンピュータで物理現象や物理制約を賢く扱えるようになると、

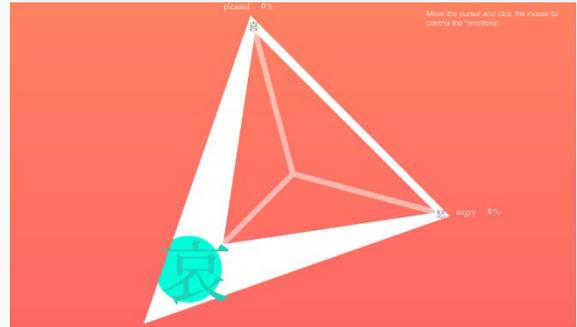
1) 複雑な物理的挙動の予測、2) 複雑な物理制約を満たす機能的人工物の設計、3) 物理的タスクを実行できる賢いロボットの開発ができるようになります。本講演では、これらの研究を紹介します。



音楽情報科学研究会推薦

森勢 将雅

山梨大学大学院総合研究部
特任助教



「感動的な歌声」の可能性

感動的な歌声の研究は難しい。上手い歌手の歌声は人を感動させ、下手な歌声は誰でも下手だと判断できる。動画共有サイトでは、明らかに合成音と知覚される歌唱でも、一部は感動的と評価されている。これらの事実は、人間の歌声であることは感動的な歌声の絶対条件ではなく、合成歌唱は合成歌唱の中で聴取者を感動させる「何か」があることを示唆する。感動的な歌声の合成は、人間の模倣ではなく感動させる「何か」を追求する困難な課題設定である。講演者は、技術開発者・楽曲制作者・聴取者を対象に、感動的な歌声の条件について調査・研究を行ってきた。本講演では、一連の活動内容について述べ、感動的な歌声の合成に挑戦する研究を紹介する。



バイオ情報学研究会推薦

清水 佳奈

産業技術研究所創薬基盤研究部門
主任研究員



秘匿ゲノム検索

近年、ゲノム配列を決定する技術が大幅に向上し、個人のゲノムデータを低コストで取得することが可能になった。個人ゲノムの情報解析は医学、生物学における様々な問題の解決に役立つと期待されているが、現状ではプライバシー保護の問題があるため、各研究拠点で収集したデータを流通させることが難しく、潜在的には豊富に存在するデータを十分に活用できない問題がある。本講演では、我々がこれまでに開発を進めてきた、ゲノムデータの中身を秘匿したまま情報検索を行う「秘匿ゲノム検索」を概説する。また、秘匿ゲノム検索をゲノムバンクで応用するための取り組みについても紹介する。



Graham Neubig

奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 助教

自然言語処理研究会推薦

プログラムを説明するプログラム



荒川 豊

奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 准教授

モバイルコンピューティングとパーベシブシステム研究会推薦

コンピュータに気持ちよく操られる社会へ向けて



内山 彰

大阪大学 大学院情報科学研究科 助教

マルチメディア通信と分散処理研究会推薦

情報技術でスポーツを支援する



加藤 淳

産業技術総合研究所 情報技術研究部門メディアインタラクション研究グループ 研究員

ヒューマンコンピュータインタラクション研究会推薦

コンピュータを変幻自在の道具にするための
プログラミング環境技術



加藤 誠

京都大学 大学院情報学研究科 特定助教

データベースシステム研究会推薦

アナロジーによる検索



河村 彰星

東京大学 総合文化研究科広域科学専攻広域システム科学系 講師

アルゴリズム研究会推薦

ランダムとは何か



栗原 一貴

津田塾大学 情報科学科 准教授

エンタテインメントコンピューティング研究会推薦

想定外のエンタテインメントを「発掘」する



後藤 真

国立歴史民俗博物館 研究部 准教授

バイオ情報学研究会推薦

歴史学の情報～Part2～人文科学者が行う情報処理～



品川 高廣

システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会推薦

東京大学 情報基盤センター情報メディア教育研究部門 准教授

BitVisor: OSを手玉にする仮想化ソフトウェア



高瀬 英希

システムとLSIの設計技術研究会推薦

京都大学 大学院情報学研究科 助教

「第3のコンピュータ」をソフトウェア志向で使いこなす
システム設計環境SWORDSフレームワーク



濱田 浩気

コンピュータセキュリティ研究会推薦

日本電信電話株式会社 NTTセキュアプラットフォーム研究所 研究員

パーソナルデータの安全な利活用を支える
プライバシー保護技術



松本 亮介

インターネットと運用技術研究会推薦

GMOペパボ株式会社 技術部技術基盤チーム シニア・プリンシパルエンジニア

人工知能はWEBサーバーの暗闇を救う



宮田 章裕

グループウェアとネットワークサービス研究会推薦

NTTレゾナント株式会社 スマートナビゲーション事業部 主査

人にやさしいコンピュータを創る



三輪 忍

システム・アーキテクチャ研究会推薦

電気通信大学 大学院情報システム学研究科 准教授

ハードウェアを増やしてコンピュータを省エネに



望月 理香

コンシューマ・デバイス&システム研究会推薦

日本電信電話株式会社 サービスエボリューション研究所 研究員

「要は何?」: ユーザ特性に合わせたわかりやすい情報提示技術

司会



落合 陽一

IPSJ-ONE 企画・実施委員会 委員長
筑波大学図書館情報メディア系 助教



竹川 佳成

IPSJ-ONE 企画・実施委員会 副委員長
公立はこだて未来大学 システム情報科学部 准教授

IPSJ-ONE 企画・実施委員会

委員長	落合 陽一（筑波大学／情報処理学会 新世代企画委員）
副委員長	稲見 昌彦（東京大学／情報処理学会 新世代企画委員） 竹川 佳成（はこだて未来大学）
メンバー	木谷 友哉（静岡大学） 杉浦 裕太（産業技術総合研究所） 鯉淵 道紘（国立情報学研究所） 金岡 晃（東邦大学） 中村 裕美（東京大学） 中野 倫靖（産業技術総合研究所） 築瀬 洋平（Unity／慶應義塾大学） 山田 太造（東京大学） 湯村 翼（情報通信研究機構） 小山 裕己（東京大学） 米澤 拓郎（慶應義塾大学）
主催	情報処理学会